

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	発達障害者サポート事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい者についてはこれまで、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図ってきたが、人材育成の観点から、発達障害者サポーター養成講座、ペアレントトレーニング等に加え、事業拡充を図っています。 【事業】 ・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営 ・個別支援計画の作成 ・発達障がいの理解のための各発活動及び研修等の実施 ・発達障害者サポーター養成講座の実施 ・ペアレントトレーニング、ペアレントメンターの実施				
	2年度概要	社会福祉法人に委託して実施 6,456千円×1か所/年 【事業実施内容】 ・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


【事業の目的】

対象（何を）	発達障がい児者
意図（どのような状態にしたいか）	乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備をさらに図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
各種相談受付件数	件	393	421	404	650	650
研修等開催回数	回	5	4	5	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	障害児通所サービス受給者数	人	目標値	660	670	680	670	670
			実績値	745	854	942		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 発達障がい児の早期発見、早期支援に伴い、障害児通所サービス受給者数が見込みを大きく上回った。 （目標達成度） 							（達成度） 138.5% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談件数については、目標件数には届かなかったが、発達障害への理解が進んでいる結果として、障害児通所サービス受給者数の増加につながっている。 （目標達成度）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	7,973	7,968	7,974	7,974
（事業費）	[千円]	6,456	6,456	6,456	6,456
（職員人件費）	[千円]	1,517	1,512	1,518	1,518

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

継続して業務を行うことで、発達障害への理解が深まり、発達障がい児者の早期発見、早期支援につながっている。今後も継続して、業務を行っていくことが必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

発達障がい児者の早期発見、早期支援のため、今後も事業を継続する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	補装具費・日常生活用具支給等事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者（児）の自立した生活や社会参加を促進するため、障がいにより失われた身体部位や損なわれた身体機能を代償・補完するための補装具を支給します。				
2年度概要	補装具支給費 居住サポート 日常生活用具 訪問入浴サービス				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			

【事業の目的】

対象（何を）	日常生活用具及び補装具を必要とする身体障がい者（児）
意図（どのような状態にしたいか）	失われた身体部位、損なわれた身体機能を代償、補完、及び日常生活の利便性を向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補装具支給申請受付人数	人	1,045	1,018	1,018	1,000	1,041

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	補装具給付件数	件	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,041
	実績値			1,050	1,018	952		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を概ね上回った。 (目標達成度)						(達成度) 95.2%	33点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	189,166	202,582	207,953	207,953
（事業費）	[円]	185,372	198,801	204,159	204,159
（職員人件費）	[円]	3,794	3,781	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 用具・装具の助成は日常生活を営む上で不可欠な事業である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 日常生活用具選定委員会を設立し、同会に用具に係る選定や耐用年数の設定等について諮ることで、公正な運営に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者相談支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者及びその家族等の不安を解消し、生活の利便を図るため、福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援を行う相談支援体制を整備します。 ・障害者相談員設置事業 ・障害者相談支援事業 ・相談支援・充実強化事業		
2年度概要	障害者相談員の設置 障害者相談支援事業の委託（身体：2箇所、知的：2箇所、精神：7箇所） 高松圏域自立支援協議会への委託		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	生活の支援を必要とする身体障害者、知的障害者、精神障害者及びこれらの家族で、市内に住所を有する者。
意図（どのような状態にしたいか）	福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援することにより障がい者及びその家族等の不安解消、生活の利便を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
障害者相談支援事業所開所日数	日	3,130	3,212	3,212	3,000	3,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	障害者相談件数	件	目標値	700	700	1,000	700	700
			実績値	636	768	1,149		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を概ね上回った。 (目標達成度)						(達成度) 114.9%	35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	98,714	98,789	98,857	98,966
（事業費）	[円]	90,368	90,471	90,510	90,619
（職員人件費）	[円]	8,346	8,318	8,347	8,347

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 障害に係る専門的な相談窓口は需要が多く、今後も必要な事業である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 障がいに関する相談支援事業を整理し、より効果の高い体制の再編に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者権利擁護事業		事業期間	平成20年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	判断能力が不十分な障がい者等の権利擁護を推進するため、法定後見制度である市長による後見等開始審判請求が妥当であるものについて家庭裁判所に審判請求を行うとともに、必要な費用を負担し、後見人等が行った援助活動等に対する報酬支払いができない者に助成を行います。 また、障がい者の権利擁護のため、障がい者虐待の防止や養護者に対する支援等を行います。
-------	---

2年度概要	成年後見人制度利用事業 障害者虐待防止対策事業 障害者差別解消推進事業
-------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	市内在住の障がい者等で判断能力が不十分な方
意図（どのような状態にしたいか）	市内在住の障がい者等で、判断能力が不十分な人について、障害者虐待防止法に基づく措置や、成年後見人制度の利用促進を図る等により、権利擁護を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成年後見市長申立件数	件	5	8	3	12	12

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成年後見人申立決定人数	人	目標値	10	10	10	12	12
		実績値	5	8	3		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 成年後見制度の認知拡大に伴い問い合わせは増加したが、申立件数及び決定人数は前年度に比べ減少し、目標数に達しなかった。 （目標達成度）						（達成度） 30.0% 10点	
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）						（達成度）	

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	11,693	12,617	16,363	21,028
（事業費）	[円]	4,106	5,055	4,981	9,646
（職員人件費）	[円]	7,587	7,562	11,382	11,382

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

法令・要綱に基づき適正に事務を行うとともに、虐待防止・差別解消・成年後見制度利用促進に努めた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、法令・要綱に基づき適正に事務を行うとともに、虐待防止・差別解消・成年後見制度利用促進に努める。
--

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者手帳交付事業		事業期間	平成20年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障害福祉サービス等を提供することにより、自立支援を図るため、障がいのある方からの手帳交付申請に基づき、適正な障害認定を行い、障害者手帳の交付を行います。身体的、地理的条件等により通院することができない在宅の重度の身体障がい者を有する市民に対し、身体障害者手帳交付申請時に必要な審査を行うため、医師の派遣を行います。
-------	---

2年度概要	手帳交付等事務費 障害者診断書作成料助成事業 在宅重度障害者訪問診査 事務費等
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


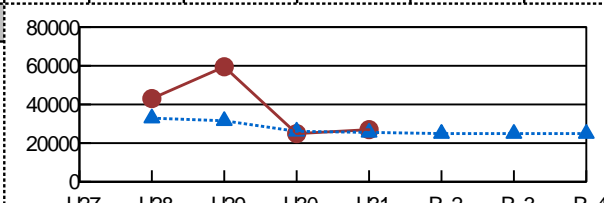
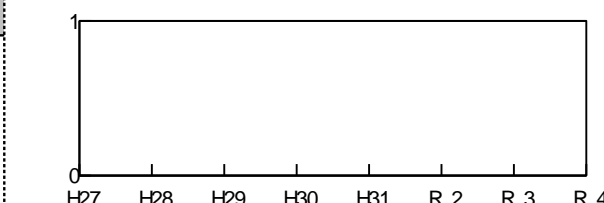
【事業の目的】

対象（何を）	住民票が高松市内にあり、身体や精神に障がいがある方
意図（どのような状態にしたいか）	身体や精神に障がいを持つ市民に対し、障害者手帳を発行することにより、内容に応じた福祉サービスを受けてもらうことで、障がい者福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
身体障害者手帳交付件数	件	2,191	2,231	2,190	2,200	2,200

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
サービス提供による決算額	千円	目標値	31,558	26,093	25,545	24,935	24,935
		実績値	59,488	24,916	26,976		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 概ね目標（見込み）値どおりの結果となった。（目標達成度） 							(達成度) 105.6%
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	74,846	74,176	98,400	41,111
（事業費）	[千円]	59,672	59,052	83,224	25,935
（職員人件費）	[千円]	15,174	15,124	15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

身体障害者手帳交付を希望する市民からの申請を受け、審査し、1～6級の身体障害者手帳を交付した。精神障害者保健福祉手帳交付を希望する市民からの申請を受け、県へ進達。県が発行したものを本人へ交付した。福祉サービスを受けることによって、障がい者の自立と社会活動への参加を促すことができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、身体障害者福祉法等に基づいて市が実施する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	福祉用品助成等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本人及び同居する家族を援助し、その精神的・経済的負担等の軽減を図るため、重度の障がい者（児）及び高齢者等に対し、福祉用品の助成を行います。				
2年度概要	紙おむつの給付 福祉電話等貸与 住宅改造の助成				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型		

【事業の目的】

対象（何を）	紙おむつ、福祉電話、ファクシミリ、車いす、住宅改造を必要とする障がい者（児）。
意図（どのような状態にしたいか）	本人及び同居する家族の精神的及び経済的負担等の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
紙おむつ支給申請受付件数	件数	72	90	90	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	紙おむつ支給件数	件	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績値			3,624	4,949	2,517		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を概ね上回った。							(達成度) 83.9% 29点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	42,761	42,156	37,693	42,635
（事業費）	[円]	33,657	33,082	28,587	33,529
（職員人件費）	[円]	9,104	9,074	9,106	9,106

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	縮小
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 令和元年度末で福祉ファクシミリの貸与事業及び車椅子貸与事業を廃止とした。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 時代背景やニーズに応じて事業の創設や改廃を行うなど、柔軟な対応に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者医療費助成事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者の医療費に係る経済的な負担を軽減し、障がい者の保健の向上や福祉の増進を図るため、障がい者の医療費（保険診療の自己負担額（高額療養費及び入院時食事（生活）療養費に係る標準負担額は除く。））の全部又は一部を助成します。		
2年度概要	障害者医療費助成事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市に住所があり、身体障害者手帳（1～4級）・療育手帳・戦傷病者手帳（特別～第7項症）のいずれかの手帳を所持し、健康保険証に記載され、生活保護を受けていない人（年齢制限・所得制限あり）。
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者の医療費に係る経済的な負担の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
助成件数	件	336,438	330,093	326,502	322,257	325,472

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	受診率	%	目標値	229.62	229.38	231.19	236.56	227.95
			実績値	233.11	234.47	239.68		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 103.7%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	1,688,444	1,663,219	1,661,284	1,683,548
（事業費）	[円]	1,665,683	1,640,533	1,638,520	1,660,784
（職員人件費）	[円]	22,761	22,686	22,764	22,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

所得制限と年齢要件の導入により受給者数は減少しているが、1人当たりの医療費が増加傾向にある点が課題となっている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

障がい者の医療費は高額になる傾向にあるため、障がい者の負担軽減を目的に、事業を継続する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害児放課後支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい児の健全な育成を図るため、養護学校に通う児童のうち、放課後帰宅しても就労等により保護者の監護を受けられない児童に対して、放課後児童会を開設し、監護及び遊びの場を提供します。		
2年度概要	放課後児童会の開設（2箇所）		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	養護学校に通う児童
意図（どのような状態にしたいか）	帰宅しても保護者の就労等のため、その監護を受けられない障害児に対して、適切な遊び及び生活の場を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
放課後児童会開設場所	数	2	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	放課後支援事業利用日数	日	目標値	283	283	283	283	283
			実績値	283	283	283		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値に達している。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	19,263	18,699	18,791	18,391
（事業費）	[千円]	18,504	17,943	18,032	17,632
（職員人件費）	[千円]	759	756	759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 身体障害児及び知的障害児に対する放課後児童クラブを運営し、保護者と児童の日常生活の向上に大きく貢献した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 利用者数に応じた予算の調整を行うなど、柔軟な対応に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者福祉施設等整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障害者総合支援法の施行に伴い、障害者の地域移行支援の核となるグループホームで暮らす「住まいの場」の整備等を実施する。		
2年度概要	障害者福祉施設等整備の利子補給指導監督事務費		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	障害者福祉施設等を整備する事業者
意図(どのような状態にしたいか)	障害者福祉施設を整備することにより、障害者福祉施設の利用促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
共同生活援助事業所等の補助金交付件数	件	0	0	0	0	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	共同生活援助事業所の定員数	人	目標値	209	251	256	261	261
	実績値	260	262	345				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	共同生活援助事業所の定員数が、目標値を89人上回る実績となり、目標を達成できた。 (目標達成度)						(達成度)
								134.8%
成果指標	就労継続支援B型の定員数	人	目標値	722	701	735	769	769
	実績値	847	886	1,030				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	就労継続支援B型の定員数が、目標値を295人上回る実績となり、目標を達成できた。 (目標達成度)						(達成度)
								140.1%

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度(決算)	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(予算)
トータルコスト	[円]	20,991	14,022	14,342	11,797
(事業費)	[円]	13,404	6,460	6,754	4,209
(職員人件費)	[円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

受給者証所持者数やたかまつ障がい者プラン等を基に、施設整備補助の必要件数を精査する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

施設の利用状況や国の施設整備補助に関する動向を注視しながら、施設整備の方針を決定していく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者就労支援促進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、中央商店街の空き店舗で障がい者を雇用し、事業を行う事業者等への支援を始め、知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行います。
-------	---

2年度概要	空き店舗を活用した「障がい者就労の場」を開設する事業者等への支援（継続店舗1） 公共施設内の「障がい者就労訓練の場」開設支援（就労訓練参加事業所5）
-------	---

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務
--------	------	----------	---------	--------

【事業の目的】

対象（何を）	一般就労を目指す障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	一般就労を目指す障がい者の雇用を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
「障がい者就労の場」店舗数	店舗	1	1	1	1	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	雇用契約をした障がい者数	人	目標値	9	5	5	6	6
			実績値	5	3	5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 障がい者雇用について目標値に達した。 (目標達成度)					(達成度)	100.0%	
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	20,190	18,292	15,883	15,868
（事業費）	[円]	12,603	10,730	8,295	8,280
（職員人件費）	[円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

事業は順調に推移しており、商店街店舗、市役所庁舎内販売とも利用者から高評価を得ている。商店街店舗はメニューをSNSで発信するなどして若年層の利用者を獲得するなど積極的な取組がなされている。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、中央商店街の空き店舗で障がい者を雇用し、事業を行う事業者等への支援を始め、更に知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行う。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	
	事務事業	障がい者地域生活支援推進事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、障がい福祉サービス事業所と連携ネットワークを構築するなど、地域支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を強化し、様々な支援を切れ目なく提供します。				
2年度概要	中核拠点委託料 地域拠点委託料 緊急時受け入れ確保事業 合理的配慮の提供支援助成金 建物建設経費一部負担金				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	

【事業の目的】

対象（何を）	障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、様々な支援を切れ目なく提供できるサービスを提供し、また、合理的配慮の提供に要する非常の一部を助成するなど、地域生活への移行や定着を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
基幹相談支援センター相談件数（中核拠点）	件		234	226	660	660

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
障害者福祉サービス利用者数	人	目標値			4,000	4,000	4,000
		実績値			3,997		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談支援を通じて適切な障害福祉サービスの利用につなげたことで、福祉サービス利用者数は増加し、ほぼ目標値に達した。 (目標達成度)	5000 4000 3000 2000 1000 0						(達成度) 99.9% 34点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
		実績値					
	1 0						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]		121,736	119,067	120,073
（事業費）	[円]		114,174	111,479	112,485
（職員人件費）	[円]		7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）及び旧福祉会館から移転したコスモス園の効率的運営に努めた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）及びコスモス園の効率的な運営を行う。